

## 北宇和高校馬術部への 支援の輪広がる



▲眼帯を付けたストラディヴァリを  
丁寧にブラッシングする馬術部

北宇和高校馬術部が飼養する馬のストラディヴァリ（愛称：ヴァリさん）が病気のため、眼球を摘出する手術を受けました。馬術部には、ヴァリのリハビリや治療費に使ってもらおうと全国各地から支援が寄せられています。

手術前、ヴァリの右目は、眼球が飛び出してしまうほど腫れ上がっていました。目の奥にできた腫瘍が原因とみられ、6月下旬に山口大学動物医療センターで眼球と腫瘍を取り除く手術を受けました。手術後、部員たちは患部を清潔に保つため、毎日ガーゼ交換などを実施。懸命なケアのおかげで、ヴァリの体調は少しずつ回復しています。

馬術部への支援には「ヴァリさん早く元気になってね」などと回復を願う言葉が書かれた手紙が添えられていることも。部員たちは、温かい気持ちに感謝しながら、ヴァリとの練習の再開を願い、治療やリハビリのサポートを続けています。

## 市越池でカヌーを使って夏を満喫

◎竹の子学級カヌー教室

8月4日、市越池で好藤公民館が実施する竹の子学級カヌー教室が行われました。

カヌー教室には好藤小学校6年生の7人が参加。児童たちは、カヌーやサップに乗って水の上を自由に動き回ったり、橋の上から飛び込んだりして夏を満喫しました。また、スタッフとして参加していたY Y C所属の消防職員が講師となったロープワークでは、もやい結びや巻き結びの結び方を学び、何度も挑戦しながら結ぶ手順を覚えていました。



## 山内富美子さんが 道路功労者表彰を受賞



8月31日、日吉支所で道路功労者表彰式があり、山内富美子さん＝上大野＝が表彰を受けました。

これは道路整備事業の発展に尽力された個人や団体に公益社団法人日本道路協会から贈られるもの。山内さんは、平成10年頃から約20年間にわたり、通学路としても使われている県道節安下鍵山線の約700メートルの間を、安心、安全に通行できるように歩道の草引きやごみ拾いなどを行い、道路環境の整備に尽力されてきました。

表彰式で、南予地方局の山下憲治建設部長から表彰状と記念品が手渡された山内さん。「もうやめようかと思っていたが、表彰を機にもう少し頑張りたい」と笑顔で話していました。